

# ザバクサ®の調製方法

## 1. 調製準備

- ◆ 目視で粒子状物質及び色調の変化がないか確認してください。  
※コアリング防止のため、常温に戻してから溶解を行ってください。

## 2. 調製操作

### ① 注射液10mLをバイアルに注入



1バイアルにつき注射用水あるいは生理食塩液 **10mL** を注入します。

注意 最終容量は約11.4mLとなります。

### ② 溶解



バイアル内で薬剤と注射液をゆっくりと振り混ぜて溶解させます。

注意 この溶解液を直接投与しないでください。

### ③ 溶解液の採取



溶解後速やかに、溶解液入りバイアルから全量(用量調節をする場合は必要量)を取ります。

注意 腎機能障害のある患者に対しては、腎機能の程度に応じて、用量の調節を行ってください(裏面参照)。

### ④ 希釈→点滴



生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液100mLの点滴バッグに注入し、希釈します。

#### 3gを調製する場合

3gを調製する場合はバイアルを2本用意します。①から③までを2回繰り返した後、同じ点滴バッグに2本分の溶解液を注入します。



## 3. 調製後

- ◆ 希釈後の液は無色～微黄色澄明です。
- ◆ 溶液に粒子状物質や変色があった場合は使用しないでください。
- ◆ 調製後は25℃以下では24時間以内、2～8℃では4日以内に使用してください。なお、凍結させないでください。
- ◆ 他の薬剤との混合は避けてください。

膀胱炎、腎盂腎炎、  
腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、肝膿瘍



1回**1.5g**を1日3回

60分かけて点滴静注する。

腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、肝膿瘍に対しては、メトロニダゾール注射液と併用すること。

敗血症、肺炎



1回**3g**を1日3回

60分かけて点滴静注する。

肺炎及び敗血症の場合、本剤の適応菌種等を踏まえ、必要に応じてグラム陽性菌に抗菌活性を有する適切な薬剤を併用して治療を行うこと。

ザバクサ®配合点滴静注用の効能又は効果、用法及び用量、「禁忌を含む注意事項等情報」等につきましては、電子添文をご参照ください。

β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤

【薬価基準収載】

**ザバクサ®** 配合点滴静注用

注射用タゾバクタムナトリウム・セフトロザン硫酸塩 ZERBAXA

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

# 腎機能障害のある患者さんへのザバクサ®投与方法

## 腎機能障害のある患者さんへの用量調節

腎機能障害のある患者さん(CLCrが50mL/min以下)に対しては下表を参考に本剤の用量を調節してください。

また、本剤の投与前及び投与中は、定期的に腎機能検査を実施してください。

### 膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、肝膿瘍

クレアチニンクリアランス(CLCr) <sup>†</sup>	本剤投与量 <sup>‡</sup>	バイアルからの抜き取り量
50mL/min超	1.5g	約11.4mL(全量)
30~50mL/min	750mg	約5.7mL
15~29mL/min	375mg	約2.9mL
血液透析中の腎不全患者 <sup>§注)</sup> 初回量 維持量	750mg 150mg	約5.7mL 約1.2mL

本剤1.5g(タゾバクタム0.5g、セフトロザン1g)      本剤750mg(タゾバクタム250mg、セフトロザン500mg)  
本剤375mg(タゾバクタム125mg、セフトロザン250mg)      本剤150mg(タゾバクタム50mg、セフトロザン100mg)

### 敗血症、肺炎

クレアチニンクリアランス(CLCr) <sup>†</sup>	本剤投与量 <sup>‡</sup>	バイアルからの抜き取り量
50mL/min超	3g	約22.8mL(2バイアル全量)
30~50mL/min	1.5g	約11.4mL(全量)
15~29mL/min	750mg	約5.7mL
血液透析中の腎不全患者 <sup>§注)</sup> 初回量 維持量	2.25g 450mg	約17.1mL(全量+半量) 約3.5mL

本剤3g(タゾバクタム1g、セフトロザン2g)      本剤2.25g(タゾバクタム0.75g、セフトロザン1.5g)  
本剤1.5g(タゾバクタム0.5g、セフトロザン1g)      本剤750mg(タゾバクタム250mg、セフトロザン500mg)  
本剤450mg(タゾバクタム150mg、セフトロザン300mg)

<sup>†</sup> Cockcroft-Gault式により推定したCLCr

<sup>‡</sup> いずれの用量も60分かけて投与する。

<sup>§</sup> CLCrが15mL/min未満で血液透析をしていない患者における臨床推奨用量の根拠となるデータは得られていない。

注) 血液透析実施日は透析終了後速やかに投与。

詳細については、電子添文をご参照ください。



MSD

製造販売元【文献請求先及び問い合わせ先】

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア  
<http://www.msd.co.jp/>

【MSDカスタマーサポートセンター】

医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961

(受付時間) 9:00~17:30 (土日祝日・当社休日を除く)

2024年8月作成  
ZBX24PH0103